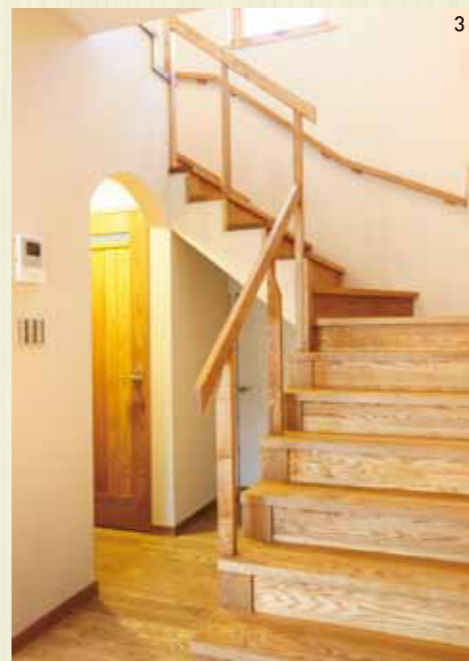


化学物質と電磁波の過敏症対策を試みた、 オーガニックな住まいづくり。

北海道産の無垢の木と地域の無添加自然素材を使用。
合板類を一切使わない自然派住宅が、さらにパワーアップ。



1.間接照明が柔らかな質感を演出する玄関ホール。2.タモ材で作ったナチュラルな洗面化粧台。3.タモの無垢材で仕上げられた階段造作。4.有機栽培のイグサ畳が気持ち良い和室。5.総レンガ貼りで仕上げた外観。6.タモのフローリングと格子建具のリビング。7.タモ材で作ったナチュラルオーダーキッチン。

Data

札幌市T邸
家族構成/夫婦 + 子ども2人
工法/木造在来工法
標準工期/約120日
プラン/フリープラン

Photographs

写真/GINŌ PHOTO WORKS



最初の新築住宅で体調を崩したTさん。よく聞く化学物質過敏症の症状だが、実はもうひとつ問題があった。それは、家電製品や携帯電話から放出される電磁波に反応する、電磁波過敏症だった。やむを得ず古い借家に移ってからは、体調も少し改善。過敏体質でも住める住まいを求め、「ビオプラス西條デザイン」をおとすれた。

無垢の木と無添加素材、接着材や塗料にも自然系材料を使用し、見えないところにも妥協しない「自然派住宅」でおなじみの同社だが、電磁波過敏症対策の実績はそれほど多くはなかった。

そこで、試行錯誤の末にとった対

策は、幹線の引き込みを床下埋設し、分電盤やポイラーなど常時、電磁波を発生する器具を隔離。また電話やポイラーなどのインフラで使う電源をひとまとめにし、それ以外の電気をブレーカーでカットできるようにした。さらに、コンセントや照明器具すべてにアースをつけ、オールアース仕様に。

こだわりの自然素材で仕上げた内装と手づくりの家具。外壁は天然繊維を使った150ミリの断熱材と、モルタル下地に厚い割肌タイル仕上げで、呼吸する壁の機能を維持しながら電磁波を和らげることができた。新居に移ったTさんは、あまりの快適さに驚いたという。自然素材の心地よさに癒される、オーガニックな住まいとなった。

